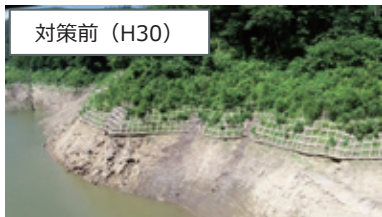


# 貯水池斜面对策で地域の治水・利水を確保 (岩手県奥州市)

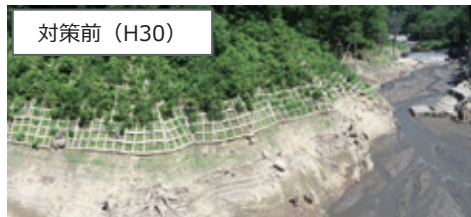
事業者：国土交通省 東北地方整備局 北上川ダム統合管理事務所



対策後



対策前 (H30)



対策前 (H30)



対策前 (H30)



**対策名：**No.4 全国の河川における洪水時の危険性に関する緊急対策（ダム）

**事業名：**胆沢ダム 堰堤維持事業（北上川水系）

- ポイント**
- 3か年緊急対策によりダム貯水池の斜面对策を前倒し実施
  - 被災による貯水池容量への影響が回避され、安全・安心な治水・利水機能を確保

## 地域の概要・課題

一級河川北上川は、幹川流路延長249km、流域面積10,150km<sup>2</sup>の東北第一の一級河川で、支川胆沢川等を合わせ岩手県を南に縦貫し、宮城県に流下しています。

胆沢ダムは、北上川及び支川胆沢川の相次ぐ洪水被害や渇水被害、増加する生活用水へ対応する役割を担うため、平成25年に完成しました。

## 事業の概要

平成30年度の出水をはじめ、これまでの出水や貯水位の変動等に伴い、ダム貯水池法面の変状が確認され、今後さらなる変状の拡大により法面が崩落し貯水池容量への影響が懸念されることから、3か年緊急対策として、法面对策工事を前倒し実施しました。

## 【見込まれる効果】

斜面对策により法面崩落による貯水池への影響を未然に防止し、地域の安全・安心な治水・利水機能を確保しました。

<治水（確率規模1/150の被害軽減効果）>

浸水戸数 約1,700戸

<利水（利水補給計画）>

かんがい：約9,700ha

水道用水：1日最大 46,800m<sup>3</sup>

発電：最大出力 15,700kw（胆沢第一及び第三発電所）